

# キューブサーチ規程書 (試行バージョン)

2012年10月1日 第1版(試行 Ver.1)  
2013年2月1日(試行 ver.2)

## キューブサーチ導入について (Cube Search)

### 導入趣旨

いつもオペデスの活動に多大なるご理解とご協力を頂きありがとうございます。

犬と暮らしている方や接している方は、犬達は鼻を使う行動が多い事をご存じだと思います。  
作業犬の分野では嗅覚を活かして、多くの犬達はその能力を発揮し役に立っています。

この度、犬達の優れた嗅覚を活かして、お互いがより良い関係を築く上で  
楽しく取り組めて、永く続けられるキューブサーチを導入する事となりました。

この作業は特別広い場所が無くても可能であること、  
また、齢を重ねた犬達にも身体的な負担が少なく、一生を通して取り組める課目ではないかと考えます。  
これは、愛犬の精神的な刺激にもなり、「何かしよう！」と言う、  
犬達の気持ちに答える事になるのではないかと思います。

実施方法については、現在、国内外で行われている競技やテストなどの実施方法を参考にし、  
色々な試みを積極的に取り入れて行きたいと考えています。  
皆様からのご意見もお聞きしたいと思いますので、  
お気づきの事などがありましたら、お聞かせいただけたらと思います。

温かく大きな気持ちで、キューブサーチの今後を見守って下さい。

「ものを考える知的なドッグスポーツもある！」

キューブサーチへのチャレンジをお待ちしています。

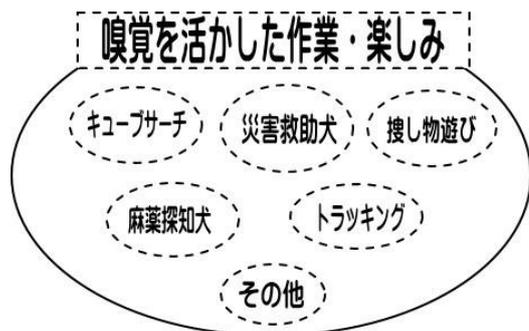
OPDES  
キューブサーチ委員会

Cube Search (キューブサーチ)  
ボックス型の用具を使う事から、この名称にした。

(資料)

嗅覚作業(Nose Work)について

犬の能力を活かした色々な嗅覚作業(Nose Work)があります。キューブサーチもその一つです。



#### 全般規定

- ハンドラーと出場犬はスポーツマンシップの精神で、また愛犬家としてのルールを守って参加すること。
- リードを外した場合はポケットに入れるか、肩に掛ける(左上、右下)。犬の着衣や特殊な首輪はジャッジが認めれば問題ない。いかなる場合も首輪を締め(チョーク装着)の状態にしてはならない。スパイク首輪の装着は認められない。
- 必要となる物以外、手には何も持ってはいけない。
- 競技は全て基本姿勢に始まり、基本姿勢で終了する。セッション毎に犬を誉めてもかまわない。
- 命令はどのような言葉でも良い。
- 出場者が審査表の閲覧を希望した場合、ジャッジはそれを拒むことはできない。しかし、審査内容に意義を申し立てる事はできない。
- ジャッジの署名がなされたグリーンブックの返還により競技終了とします。(試行段階では、キューブサーチのグリーンブックはありません。その他のグリーンブックに日付、大会印、ジャッジ印を押し、出場の記録とする事が出来ます。)

#### サーチの中止

- 持来させる場合、ハンドラーの命令で設置エリアに行けなかった場合、その回は不正解となる(競技は続行できる)。
- 物品の臭いを嗅がせてから2分を越えてもその回が終了しない場合は、その回のサーチが不正解となる。
- 排泄は、その回のサーチが不正解となる。

#### 失格

- 競技中いかなる場面(入退場や申告も含む)でも、ハンドラーのスポーツマンシップに欠ける態度、あるいはジャッジが犬の性格に重大な欠点を認めた場合、競技は中止され失格となる。エントリー料の返還にも応じない。
- コントロール不能犬、あるいは犬がハンドラーのもとを離れてハンドラーのもと、あるいは競技場内に戻ってこない場合も競技は中止され失格となる。

#### 出場禁止など

- 病犬や伝染病発病の疑いがある犬は出場不可能とし、会場に持ち込まれる事が禁止されている。また、嚙癖犬・妊娠犬の出場はご遠慮下さい。

#### その他

- 規程に書かれていない事項が発生した場合は、当日のジャッジと競技会事務局の判断により決められる。

## 出場資格

オブデスの会員であること。

試行期間中は、会員でなくても良い。

チームテスト資格:現在のところ必要ありませんが、将来的に、チームスト資格を導入します。

## クラス一覧表(試行導入における)

	略号	クラス名	リード	本臭	誘惑となる臭い	キューブ	持来 or 告知
①	CS-B	キューブサーチ ビギナー	装着可 手に持ったまま作業 しても良い	自臭※	全て無臭	5個※	どちらでも良い
②	CS-N1	キューブサーチ ノービス1	装着可 手に持って作業する 事は出来ない	自臭	他人臭 (2名以上)	6個※	どちらでも良い
③	CS-N2	キューブサーチ ノービス2	装着可 手に持って作業する 事は出来ない	他臭	他人臭 (3名以上)	6個※	どちらでも良い
④							
⑤							
⑥							
⑦							

※自臭=ハンドラーの臭い

※頭数にもよりますが、2次審査、3次審査、・・、決定戦を行う事があります。この際、キューブの数が増える事もあります。

物品は、主として布(さらしなど)を使用するが、ビニールや紙などを使わないと言う事ではありません。

## 競技の進行

競技は時間割進行により行われる。

原則、競技会3日前までにHPに競技スケジュールを告知する。

ハンドラーは、作業開始時間に間に合うように準備する。

理由なく競技時間に遅れた場合は失格となる。

ハンドラーは、リンクの近くで待機し順番が来たらリンクに入る。

申告及び終了時は、紐付き状態にある犬と共に基本姿勢で行わなければならない。

また、指導手はジャッジ及び要員の指示を厳守しなければならない。

## ①キューブサーチ ビギナー(CS-B)

(無臭物品の中からハンドラーの臭いの付いた物品を探す)

5回のサーチを実施する。

手元で嗅がせた臭いと同じ臭いが付着しているものを嗅ぎ分けて、対象物を持来、または、告知する。

**申告時に持来 or 告知を審査員に告げる。**

該当するエントリーにおいて、持来と告知を混ぜる事は出来ない。(1回目のサーチが持来で、2回目が告知は不可)(※)

スタートで嗅がせる物品と設置エリアで探す物品は同一の素材形状の物を使用する。(※)

ビギナークラスは、持来・告知において、リードをつけた状態で作業を行ってもよい。(概ね、1.5メートル以内)

持来・告知共にリードを手を持ったままサーチを行っても良い。

一つのキューブに対して、物品が0個～1個、5つの穴のいずれかに設置される。

作業時間 持来:スタートエリアで犬に臭いを嗅がせ出してから計測し、ジャッジに布を渡すまでとする。

告知:スタートエリアで犬に臭いを嗅がせ出してから計測し、告知を確認するまでとする。

ハンドラーが作業中にキューブ・設置物品に触れる事は出来ない。(不正解)

コマンドは、少ない方が望ましい。

(※)1次審査(1回戦)以降は、これに限らない。

### 作業について

#### ● 申告～スタート

自分の順番が来たら、リンクに入り審査簿の確認をして、スタートラインで設置エリアに背を向けて待機する。

#### ● 嗅がせ方

物品の臭いを嗅がせるのは、スタート地点で1回のみとする。

嗅がせ出してから、時間の計測が始まる。

物品の臭いを嗅がせる際は、スタートラインを越えてはいけない。

#### ● キューブサーチ → 持来の場合

犬に臭いを嗅がせた後、スタートさせ物品を探して持ってくる。犬が物品を持ってきたら、正面停座又は脚側停座の後、犬から布を受け取り、正面停座をさせた場合は、脚側停座をさせて、嗅がせた物品と持来してきた物品の両方をジャッジに渡す。

#### ● キューブサーチ → 持来の場合(ハンドラーと一緒に)

スタート地点で臭いを嗅がせ犬と一緒に設置エリアに行く、リードを手を持って行う場合は、リードによる意図的なコントロールはしないようにする。また、スタートで嗅がせた物品は手に持ったままで行う。サーチした後、物品を啜ってスタートまで持ち帰る。正面停座又は脚側停座の後、犬から物品を受け取り、正面停座をした場合は、脚側停座をさせて、嗅がせた物品、持来してきた物品の両方をジャッジに渡す。

#### ● 告知

ハンドラーと共に行う場合

スタート地点で臭いを嗅がせ犬と一緒に設置エリアに行く、リードを手を持って行う場合は、リードによる意図的なコントロールはしないようにする。また、スタートで嗅がせた物品は、手に持ったままで行う。犬が明確な告知動作を行った後、ハンドラーは犬を脚側停座させて、ハンドラーがキューブを指摘し自己犬の解答をジャッジに伝える。ジャッジの指示によりスタートラインに戻って、最初に嗅がせた物品をジャッジ又は要員に返す。

犬のみが告知動作を行う場合、

スタート地点で臭いを嗅がせて犬だけ発進する。設置エリアで告知動作をしたら、ジャッジに確認を取り、指示によりハンドラーは犬の元へ行き、ハンドラーは犬を脚側停座させて、自己犬の解答をジャッジに伝える。ジャッジが確認した後、スタートに戻り、最初に嗅がせた物品をジャッジ又は要員に返す。

#### 告知態度

例:キューブの前で座る、キューブの前で伏せる、キューブの前で立って止まる(立止)、キューブの前で吠える  
ハンドラーの指示で告知するのではなく、自発的で継続的な安定した作業態度が望まれる。

告知するキューブが明確に分かる作業でなくてはいけない。

(距離が告知するキューブに最も近い、体がキューブに向いている、キューブを見ているなど)

### 使用する物品

布(さらしなど)を使用するが、ビニールや紙などを使わないと言う事ではない。

## ②キューブサーチ ノービス 1(CS-N1)

(誘惑物品の中からハンドラーの臭いの付いた物品を探す)

5回のサーチを実施する。

手元で嗅がせた臭いと同じ臭いが付着しているものを嗅ぎ分けて、対象物を持来、または、告知する。

**申告時に持来 or 告知を審査員に告げる。**

該当するエントリーにおいて、持来と告知を混ぜる事は出来ない。(1回目のサーチが持来で、2回目が告知は不可)

スタートで嗅がせる物品と設置エリアで探す物品は同一の素材形状の物を使用する。(※)

ノービスクラスは、持来・告知ともリードをつけた状態で作業を行ってもよい。(概ね、1.5メートル以内)

持来・告知ともに、作業中(スタートした後)にリードを手を持つ事は出来ない。

一つのキューブに対して、物品が0個～1個、5つの穴のいずれかに設置される。

作業時間 持来:スタートエリアで犬に臭いを嗅がせ出してから計測し、ジャッジに布を渡すまでとする。

告知:スタートエリアで犬に臭いを嗅がせ出してから計測し、告知を確認するまでとする。

ハンドラーが作業中にキューブ・物品に触れる事は出来ない。(不正解)

コマンドは少ない方が望ましい。

(※)1次審査(1回戦)以降は、これに限らない。

### 作業について

#### ● 申告～スタート

自分の順番が来たら、リンクに入り審査簿の確認をして、スタートラインで設置エリアに背を向けて待機する。

#### ● 嗅がせ方

臭いを嗅がせるのは、スタート地点で1回のみとする。

嗅がせ出してから、時間の計測が始まる。

物品の臭いを嗅がせる際は、スタートラインを越えてはいけない。

#### ● キューブサーチ → 持来の場合

犬に臭いを嗅がせた後、スタートさせ物品を探して持ってくる。犬が物品を持ってきたら、正面停座又は脚側停座の後、犬から布を受け取り、正面停座をさせた場合は、脚側停座をさせて、嗅がせた物品と持来してきた物品の両方をジャッジに渡す。

#### ● キューブサーチ → 持来の場合(ハンドラーと一緒に)

スタート地点で臭いを嗅がせ犬と一緒に設置エリアに行く、リードを手を持つ事は出来ない。スタートで嗅がせた物品は手に持ったままで行く。サーチした後、物品を啜えてスタートまで持ち帰る。正面停座又は脚側停座の後、犬から物品を受け取り、正面停座をした場合は、脚側停座をさせて、嗅がせた物品、持来してきた物品の両方をジャッジに渡す。

#### ● 告知

ハンドラーと共に行う場合

スタート地点で臭いを嗅がせ犬と一緒に設置エリアに行く、リードを手を持つ事は出来ない。スタートで嗅がせた物品は、手に持ったままで行く。犬が明確な告知動作を行った後、ハンドラーは犬を脚側停座させて、ハンドラーがキューブを指摘し自己犬の解答をジャッジに伝える。ジャッジの指示によりスタートラインに戻って、最初に嗅がせた物品をジャッジ又は要員に返す。

犬のみが告知動作を行う場合、

スタート地点で臭いを嗅がせて犬だけ発進する。設置エリアで告知動作をしたら、ジャッジに確認を取り、指示によりハンドラーは犬の元へ行き、自己犬の解答をジャッジに伝える。ジャッジが確認した後、スタートに戻り、最初に嗅がせた物品をジャッジ又は要員に返す。

### 告知態度

例:キューブの前で座る、キューブの前で伏せる、キューブの前で立って止まる(立止)、キューブの前で吠える  
ハンドラーの指示で告知するのではなく、自発的で継続的な安定した作業態度が望まれる。

告知するキューブが明確に分かる作業でなくてはならない。

(距離が告知するキューブに最も近い、体がキューブに向いている、キューブを見ているなど)

### 使用する物品

布(さらしなど)を使用するが、ビニールや紙などを使わないと言う事ではない。

### ③キューブサーチ ノービス 2 (CS-N2)

(誘惑物品の中から手元で嗅いだ物と同じ臭いの付いた物品を探す)

5回のサーチを実施する。

手元で嗅がせた臭いと同じ臭いが付着しているものを嗅ぎ分けて、対象物を持来、または、告知する。

**申告時に持来 or 告知を審査員に告げる。**

該当するエントリーにおいて、持来と告知を混ぜる事は出来ない。(1回目のサーチが持来で、2回目が告知は不可)

スタートで嗅がせる物品と設置エリアで探す物品は同一の素材形状の物を使用する。(※)

ノービスクラスは、持来・告知ともリードをつけた状態で作業を行ってもよい。(概ね、1.5メートル以内)

持来・告知ともに、作業中(スタートした後)にリードを手を持つ事は出来ない。

一つのキューブに対して、物品が0個～1個、5つの穴のいずれかに設置される。

作業時間 持来:スタートエリアで犬に臭いを嗅がせ出してから計測し、ジャッジに布を渡すまでとする。

告知:スタートエリアで犬に臭いを嗅がせ出してから計測し、告知を確認するまでとする。

ハンドラーが作業中にキューブ・物品に触れる事は出来ない。(不正解)

コマンドは少ない方が望ましい。

(※)1次審査(1回戦)以降は、これに限らない。

#### 作業について

##### ● 申告～スタート

自分の順番が来たら、リンクに入り審査簿の確認をして、スタートラインで設置エリアに背を向けて待機する。

##### ● 嗅がせ方

臭いを嗅がせるのは、スタート地点で1回のみとする。

嗅がせ出してから、時間の計測が始まる。

物品の臭いを嗅がせる際は、スタートラインを越えてはいけない。

##### ● キューブサーチ → 持来の場合

犬に臭いを嗅がせた後、スタートさせ物品を探して持ってくる。犬が物品を持ってきたら、正面停座又は脚側停座の後、犬から布を受け取り、正面停座をさせた場合は、脚側停座をさせて、嗅がせた物品と持来してきた物品の両方をジャッジに渡す。

##### ● キューブサーチ → 持来の場合(ハンドラーと一緒に)

スタート地点で臭いを嗅がせ犬と一緒に設置エリアに行く、リードを手を持つ事は出来ない。スタートで嗅がせた物品は手に持ったままで行う。サーチした後、物品を咥えてスタートまで持ち帰る。正面停座又は脚側停座の後、犬から物品を受け取り、正面停座をした場合は、脚側停座をさせて、嗅がせた物品、持来してきた物品の両方をジャッジに渡す。

##### ● 告知

ハンドラーと共に行う場合

スタート地点で臭いを嗅がせ犬と一緒に設置エリアに行く、リードを手を持つ事は出来ない。スタートで嗅がせた物品は、手に持ったままで行う。犬が明確な告知動作を行った後、ハンドラーは犬を脚側停座させて、ハンドラーがキューブを指摘し自己犬の解答をジャッジに伝える。ジャッジの指示によりスタートラインに戻って、最初に嗅がせた物品をジャッジ又は要員に返す。

犬のみが告知動作を行う場合、

スタート地点で臭いを嗅がせて犬だけ発進する。設置エリアで告知動作をしたら、ジャッジに確認を取り、指示によりハンドラーは犬の元へ行き、自己犬の解答をジャッジに伝える。ジャッジが確認した後、スタートに戻り、最初に嗅がせた物品をジャッジ又は要員に返す。

#### 告知態度

例:キューブの前で座る、キューブの前で伏せる、キューブの前で立って止まる(立止)、キューブの前で吠える  
ハンドラーの指示で告知するのではなく、自発的で継続的な安定した作業態度が望まれる。

告知するキューブが明確に分かる作業でなくてはならない。

(距離が告知するキューブに最も近い、体がキューブに向いている、キューブを見ているなど)

#### 使用する物品

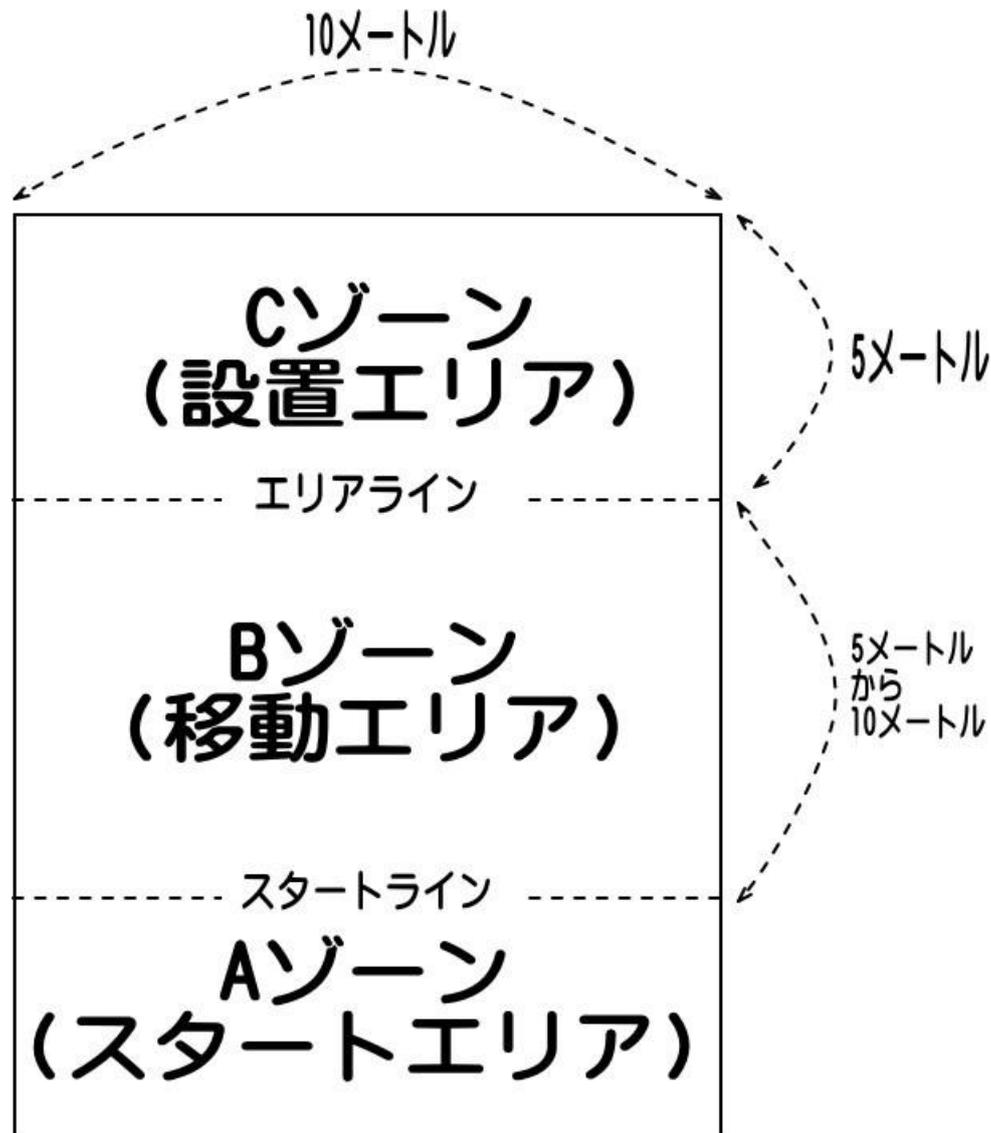
布(さらしなど)を使用するが、ビニールや紙などを使わないと言う事ではない。

## 審査

100 点が最高点とし、5 回成功が 100 点となる。

### リンク(エリアについて)

下記の図のイメージです。(距離は、およその目安です。)



クラスによって入る事が出来るエリアが制限されます。

クラス	Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン	布を差す場所
ビギナー	○	○ (距離を短く設定)	○	上面の穴 (1個のキューブに一つ)
ノービス1	○	○ (距離を短く設定)	○	5個のうちのいずれか (1個のキューブに一つ)
ノービス2	○	○ (距離を短く設定)	×	5個のうちのいずれか (1個のキューブに一つ)

### キューブの設置パターン

原則として、当日に決定される。

同一クラスは、同じパターンで審査される

キューブの配置がリードや犬の動作などで動いた場合は、なるべく同じ状態に復旧するが、少しのズレは許容される。

ビギナークラス、ノービスクラスともに一次審査は、半円状とする。

## 使用する用具

キューブ(設置する為につかうもの)

素材:アルミ、木、プラスチック、段ボール、その他)

形状:約 20 センチ四方の立方体で、底面が無く、他の面には全て穴が中心部に空けられている。穴の直径は、25 ミリ

その他、

バリエーションとして、物品を設置するのに、コンクリートブロック、植木鉢(素焼き、プラスチックなど)を使用する事もあるが、その場合は、競技会の案内に掲載する。

## 競技会開催における規定

同一犬がハンドラーを変えて、同じクラスに出場する事は出来ない。

出場順は、時間割進行とする。

出場順に間に合わなかった場合は、原則として失格とする。

シーズン犬が分かった場合は、事務局に連絡して下さい。

公開練習が設定される場合には、公開練習をする事が出来ます。

時間や順番、練習概要は競技会事務局により決められて発表されます。他のペアに自分の練習時間を譲る事は出来ません。練習を行わないペアがあった場合は、練習開始時間が早くなる場合がありますので、アナウンスに注意して下さい。指示された時間に遅れた場合は、公開練習用リンクでは練習できません。

## 表彰および順位決定戦

各クラス、1 席～3 席までを表彰対象とします。

各クラス、5 回全てが不正解の場合、順位対象外とする。

順位決定戦は、難易度(布の臭いの付け方、布ではない物品)を変えて行う。また、サドンデス方式などを取り入れる。

## その他(例外)

原則、1 回のエントリーにおいて、持来と告知が混ざらない方がよいと規定するが、現状を鑑みると持来型から告知型へ作業態度を変更していく出場犬もあると思われるので、1 回目が告知で 2 回目が持来(その逆も可)となっても構わない。

告知については、他の告知態度も考えられるので、その都度、検討していく事とする。

キューブサーチ審査用紙

開催日 年 月 日 会場:

No	CS-B / CS-N1 / CS-N2 / CS 1 ( 持来 / 告知 )		
指導手	会員番号	ハンドラー番号	
犬名			生年月日
犬種		牡・牝	犬登録 ID
1			
2			
3			
4			
5			
			ジャッジ署名

## 附則

この規定は、試行バージョンです。

より良いものにするため、定期的に見直しを行います。

2012年10月1日（試行 ver.1）

2013年2月1日（試行 ver.2）